

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【公開番号】特開 2013-133009 (P2013-133009A)

【公開日】平成 25 年 7 月 8 日 (2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報 2013-036

【出願番号】特願 2011-284755 (P2011-284755)

【国際特許分類】

B 6 2 D 25/08 (2006.01)

B 6 2 D 25/06 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 25/08 K

B 6 2 D 25/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 11 日 (2014.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

図 1 (a) に示すように、当該車両後部構造 1 0 0 は、特に車両 1 0 2 のようなハッチバック車の後部において好適に実施することができる。車両が走行中に受ける荷重は、部材同士の間溶接点に集中しやすい。そして、溶接点には、単に直進的に荷重がかかる場合以外にも、ねじれるようにかかる場合（例えば、荷重によって、部材同士が溶接点を中心にして回転しようとする場合）もある。特に、車両 1 0 2 のようなハッチバック車では、車両 1 0 2 の後部にリヤハッチ領域 1 0 4 が空けられていて、ルーフ 1 0 6 とサイドボディ 1 0 8 との間のコーナ E 3 の後端（C 部）において、そのような荷重が発生するおそれがある。そこで、本実施形態では、このような荷重をも吸収してき裂の発生が防止できるよう、以下に説明する構成によって、ルーフ 1 0 6 およびサイドボディ 1 0 8 を効率よく補強している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

